

「活用」の力を育てる評価問題

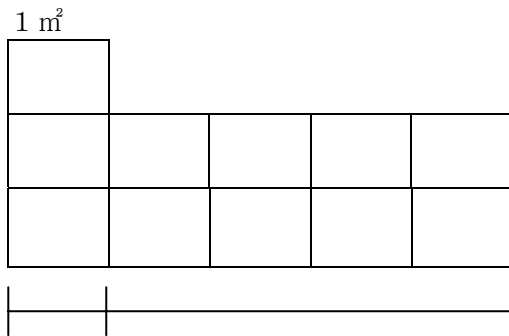
小6 算数 「分数のかけ算・わり算」

評価問題例

式から解き方を考えさせる。

問題 1

$\frac{2}{3} \div \frac{1}{4}$ を面積図を使って説明しましょう。



式

答え ()

説明

児童自身が、既習事項を生かして式と言葉を照らし合わせて答えさせる。

問題 2

$\frac{2}{3} \div \frac{3}{4}$ が $\frac{2}{3} \times \frac{4}{3}$ になるわけを式を使って説明しましょう。

計算のきまりを使って、わる数を1にする方法を考えて説明させる。

評価問題のポイント

問題 1 では、分数÷分数を公式を使って求めるだけでなく、単位分数を使って視覚的に式をとらえさせるとともに、計算の仕組みを理解させる。○×△（単位分数のいくつ分）、□×☆（1をいくつに分けたひとつ分）

問題 2 では、分数÷分数の計算の仕方について、除数×除数の逆数=1になることを使って、分数÷分数の計算が分数×分数の計算になることを説明し理解を深める。

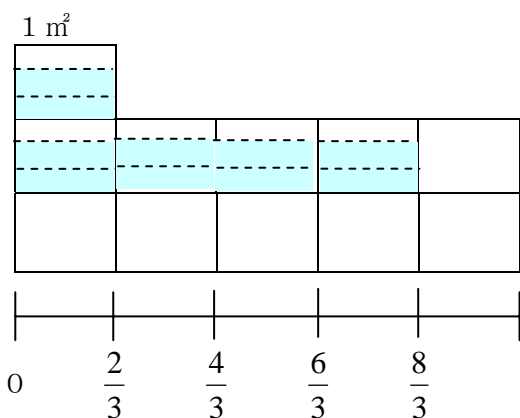
さらに、振り返りシートや算数日記等を取り入れるなど、自分の学びを振り返り、次の時間のめあてをもつことができるようにしたい。本時の展開に示したように、各自のノートに文章化させることも一つの方法である。児童の実態や授業の展開に合わせて工夫したい。

評価問題例

解答例

問題 1

$\frac{2}{3} \div \frac{1}{4}$ を面積図を使って説明しましょう。



式

$$\frac{2}{3} \div \frac{1}{4} = \frac{2}{3} \times \frac{4}{1} = \frac{8}{3}$$

答え ($\frac{8}{3}$)

説明

1 m^2 は $\frac{1}{4} \text{ m}^2$ の 4 倍だから

$$\frac{2}{3} \div \frac{1}{4} = \frac{2}{3} \times \frac{4}{1} \text{ となる。}$$

既習事項を生かして式と言葉を照らし合わせて答えさせる。

式から解き方を考えさせる。

問題 2

$\frac{2}{3} \div \frac{3}{4}$ が $\frac{2}{3} \times \frac{4}{3}$ になるわけを式を使って説明しましょう。

$$\frac{3}{4} \times \frac{4}{3} = 1 \text{ だから、}$$

$$\begin{aligned} \frac{2}{3} \div \frac{3}{4} \\ &= \left(\frac{2}{3} \times \frac{4}{3} \right) \div \left(\frac{3}{4} \times \frac{4}{3} \right) \\ &= \frac{2}{3} \times \frac{4}{3} \end{aligned}$$

計算のきまりを使って、わる数を 1 にする方法を考えて説明させる。

評価問題のポイント

問題 1 では、分数÷分数を公式を使って求めるだけでなく、単位分数を使って視覚的に式をとらえさせるとともに、計算の仕組みを理解させる。○×△（単位分数のいくつつ分）、□×☆（1をいくつに分けたひとつ分）

問題 2 では、分数÷分数の計算の仕方について、除数×除数の逆数=1になることを使って、分数÷分数の計算が分数×分数の計算になることを説明し理解を深める。

さらに、振り返りシートや算数日記等を取り入れるなど、自分の学びを振り返り、次の時間のためをもつことができるようにしたい。本時の展開に示したように、各自のノートに文章化させることも一つの方法である。児童の実態や授業の展開に合わせて工夫したい。